

1 学校教育目標

「進んで学習する子ども」「仲良く助け合う子ども」「礼儀正しい子ども」「元気でじょうぶな子ども」

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	◎ 夢 はばたく 梅島小学校 夢の実現に向けて、子ども、教職員、保護者・地域が共に支え合い高め合う学校
○児童・生徒像	【梅島ブランド】㊦：運動で体を動かしきたえ合い㊧：目で見つめ心でみつめて思い合い㊨：じっくり考え学び合い ㊩：まじめにやりぬき高め合い
○教師像	人間愛にあふれ、明るく前向きに対応する教師（教師の人間性） 子どもの実態を的確に把握し、適切な指導ができる教師（教師の専門性） 主体的に課題解決をしながら、職務を遂行できる視野の広い教師（教師の主体性）

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

学級数18学級、児童数約580名。創立135周年を迎える歴史と伝統のある学校である。子ども達は比較的落ち着いて学校生活を送っている。PTA や開かれた学校づくり協議会など、地域の方の学校への信頼は厚い。特別な配慮を要する児童や個別に支援を要する児童がおり、組織的に対応している。

【前年度の成果と課題】

◎ 重点的な取組事項－1 学力向上アクションプラン

前期に実施した区学力に関する総合調査では、国語・算数ともに昨年度よりも通過率はやや低下した、目標とする通過率85%に到達しなかった。基礎的事項の確実な定着のため、「パワーアップタイム」・「放課後タイム」等の補充学習をさらに充実させ、つまずきの解消に努めていく。

◎ 重点的な取組事項－2 安全・安心な学校生活環境の充実

引き続き保護者や地域とともに連携を深めながら、安全な環境整備の充実に取り組んでいく。
特別支援教育の充実や、いじめ防止に向けた取り組みをさらに充実させ、安心・安全な生活環境を整える。

◎ 重点的な取組事項－3 保護者や地域と共に子供を育む活動の充実

「情報発信」については高い評価を得た。「引き続き、積極的な情報発信と安全・安心を第一に考えた学校行事を実施し、保護者や地域との連携を深めていく。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプランの着実な実行（梅島ブランドの「じ」）	○	○	◎	◎	◎
2	体力向上に向けた継続的な取組（梅島ブランドの「う」）			○	○	○
3	児童の安心・安全な学校生活環境の充実（梅島ブランドの「め」）	○	○	○	○	○
4	保護者・地域、教職員、子どもが協働する活動の充実（梅島ブランドの「ま」）	○	○	○	○	○

5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプランの着実な実行（梅島ブランドの「じ」）							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
基礎的・基本的な学習事項の確実な定着		年度初：2教科とも85%以上 年度末：2教科とも70%以上		年度初：国語 86.6% 算数 85.6% 年度末：国語 78.6% 算数 72.1%		当該学年の内容について当該学年のうちに定着を図ることが課題である。		◎	
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
継続	①パワーアップタイムの確実な実施	○全学年 ○国語・算数	○毎週 火曜（国語） 水曜（AIドリル） 金曜（読書）	○担任 ○漢字・計算等 ○毎週水曜日はAIドリルを実施する	○梅島ミニマムテスト	○1月 ：目標値：90点以上 通過率：90%以上	92.9%	各学年、基礎的基本的な学習内容の指導を徹底した結果、達成した。	◎y
継続	②放課後補習教室の効果的な実施	○学力C/D層 ○国語・算数	○毎週火曜 放課後 30分間以上	毎週火曜日の放課後（～15：55） Aグループ：補充学習（担任2名） Bグループ：課題の取組（担任1名＋副担任）	○区調査再実施 4月：前学年の内容 12月：現学年の内容	○区調査再実施 （1月） ：国語・算数 通過率：70%以上	75.4%	放課後補習教室の実施により達成した。	◎
継続	③家庭学習習慣の定着	○全学年 ○国語・算数	○6・9・11・1月 ：各月1週間	○担任・保護者 ○「家庭学習カード」による学習習慣の定着	○各学年の目標値の達成率	○家庭学習週間（1月） ：目標達成率75%以上	【1月結果】 90.1% 76.8% 90.0%	実施するごとに達成率が上昇した。引き続き指導する。	◎
継続	④授業改善の取組（足立スタンダードの実践）		○毎時間	振り返りの内容は、 ①「めあて」の達成度 ②本時で学んだこと ③できなかったこと	○児童アンケート：1月	○教員アンケート ：「毎時間行った」の回答60%	教員アンケート 12月74.0%	児童アンケートが取れず、教員による評価とした。	△
継続	⑤ICT機器の活用	○全教員 ○全教科	○年間	○教員用デジタル教科書の活用：週1単位時間以上 ○その他の機器の活用：週3単位時間以上	○教員アンケート：1月	○教員アンケート ：週1回以上AIドリルを活用100%	100%	AIドリルの活用は100%であった。その他の危機の活用は、73%であった。	◎
継続	⑥小中連携・校内研の実施	○全教員	○年間	○小中連携授業年間1回 ○校内研授業年間3回	○教員アンケート：1月	○教員アンケート ：「自身の授業力が向上した」の回答80%	7月81.5% 1月80.5%	授業研究に主体的に取り組む姿勢に差がみられた。	◎

重点的な取組事項－2		体力向上に向けた継続的な取組（梅島ブランドの「う」）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
体力調査結果の向上		区平均と同じかそれ以上の項目 40%以上	区平均と同じかそれ以上の項目 96項目中39項目→40%	令和5年度に半年間校庭が 使用できなかったことの影響 を検証すること。	○
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
(1) 投力の改善	○各学年 80% 1・2年生：5m以上 3・4年生：10m以上 5・6年生：15m以上	①投力向上のための継続的な 取組 ②投動作獲得のための遊びの 実施 ③投力向上のための授業改善	1年 72.8% 2年 88.2% 3年 47.1% 4年 65.7% 5年 36.8% 6年 27.3%	踏力については、抜本 的な指導の見直しが必要 である。投動作の獲得が 課題である。	●
(2) 食育の実践	○目標残菜率 5%以下	①給食だよりによる食育啓発 ②もりもりウィーク（年間2 回）による啓発 ③お弁当コンクールの実践に よる家庭への啓発	12月の平均残菜率 2.2%	給食指導時間の中で、 喫食時間の確保に努め るとともに、もりもり ウィークやお弁当コン クールの実施により、 食育への関心を高める ことができた。	◎
(3) 歯科治療率の向 上	○治療率 70%以上 （治療済/要治療者）	①保健だよりによる啓発 ②個人面談での直接指導 ③学校メールを活用しての啓 発	【1月末】 治療済/要治療者＝25/35 ＝71.4%	個人面談の機会を活用 し、繰り返し治療の督 促を行った結果、治療 率が向上した。	◎

重点的な取組事項－3		児童の安心・安全な学校生活環境の充実（梅島ブランドの「め」）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
児童の安心・安全な学校環境の整備		学校評価アンケート ：「そう思う」50%以上 を2項目以上	50%以上の回答項目0	肯定的な回答は3項目 中2項目で90%以上	△
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
(1) いじめ対策の推進	いじめの解消率 年度末までに100% （発生後3ヶ月未満を除く）	①アンケートの実施（年3回） ②いじめに関する授業の実施（年間1回） ③児童によるいじめ防止に向けた自治的な取組の実施（年間1回）	①12月時点で認知したいじめに対する解消率は100%である。 ②いじめに関する授業はすべての学級において年間3回実施した。 ③児童による自治的な取り組みは今後実施予定。	○引き続き、いじめに対する高い意識を持ち、児童の状況把握に努めること。	◎
(2) 体罰防止の徹底	体罰案件0件	①サービス事故防止研修会（年間3回） ②アンケートの実施（年間1回）	①サービス事故研修年間3回実施 ②アンケート未実施 ・体罰案件は0件であったが、不適切指導が複数あった。	○引き続き、教職員への指導に努める。 ○児童への指導にあたっては、学年等の教員など、複数による指導を原則とする。	○
(3) 特別支援教育の充実	保護者アンケート（多様性の認知について） ：「そう思う」50%以上	①UDL (Universal Design for Learning) の実践 ②多様性の認知に基づいた教育実践（男女混合名簿、整列順、呼名「さん」、特別支援教室との連携、復籍交流の実践）	①教員の自己評価では81.5%であった。 ②整列、呼名等は実践した。 ・保護者アンケートで、そう思うの回答は35.8%にとどまったが、肯定的な回答は88.4%であった。	多様性の認知に基づいた指導については、学校の取り組み内容を保護者に周知していく必要がある。	○

重点的な取組事項－４		保護者・地域、教職員、子どもが協働する活動の充実（梅島ブランドの「ま」）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者・地域、教職員、子どもが協働する学校づくり		学校評価アンケート ：「そう思う」50%以上 を2項目以上	50以上の項目は1項目(情報発信)	肯定的な回答はすべてにおいて90%を超えた。取り組みの広報が必要である。	○
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
(1) 伝統・文化体験の実施	①年間1回4年生以上 ②年間1回6年生 ③年間6回以上開催 参加率60% (出席数/申込者)	①生花体験教室の実施 ②日本画体験教室の実施 ③将棋教室の実施	①年間1回4年生以上で実施 ②年間1回6年生で実施 ③年間6回以上開催した 参加率80%	教員が入れ替わる中で、この事業の安定的な継続を図っていくことが課題である。	◎
(2) 児童によるSDGsへの取組	各法策年間1回以上	①もったいない運動 ②清掃・ゴミの分別 ③リサイクル活動の実施	①もったいない運動→年2回実施 ②清掃・ゴミの分別 →毎日実施 ③リサイクル活動の実施 →ごみの分別に伴って実施 4年生で水のリサイクル、ごみのリサイクルについての学習を実施した。	引き続きこれらの取り組みを行っていく。なお、第4学年の学習については可能であれば巡検を行う。	◎
(3) 情報発信の充実	保護者アンケート ：「そう思う」50%以上	①学校ホームページを活用した教育活動やPTA、協議会の活動の定期的な配信 ②学校メールの効果的な配信に向けた体制の充実 ③ICTを活用したアンケートや連絡等のペーパーレス化	①学校ホームページを活用した教育活動やPTA、協議会の活動の定期的な配信を行った。 ②学校メールのH&Sを活用した配信を行った。 ③ICTを活用したアンケートや連絡等のペーパーレス化を図った。 ・保護者アンケートで、そう思うの回答61.2%	引き続き情報発信に努めるが、保護者の意見として、発信情報の精査を求める声もあり、今後検討していく必要がある。	◎

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

◎ 重点的な取組事項－1 学力向上アクションプランの着実な実行（梅島ブランドの「じ」）

- ・基礎的な学習事項の定着は、令和4年度からの継続的な取り組みの結果、通過率の向上につながっている。個別の学習状況を見極めながら引き続き、弱点克服に向けて、学力向上アクションプランを全校体制で着実に実施していきたい。

◎ 重点的な取組事項－2 体力向上に向けた継続的な取組（梅島ブランドの「う」）

- ・投力の向上に焦点化し、体力向上を図ってきたが、具体的な実践につながらず、成果が上がらなかった。校庭改修工事が終了した令和6年度は、投力の向上に向けて、教材や教具を工夫するなどして段階的な指導を行ってきたい。

◎ 重点的な取組事項－3 児童の安心・安全な学校生活環境の充実（梅島ブランドの「め」）

- ・保護者の価値観が多様化する中、学校が画一的にきまりを設定するのではなく、学校が示したきまりを保護者の責任の下選択できるような取り組みを行った。（帽子、通学カバン、水着等）また、特別な配慮を要する児童の増加に伴い、校内研修会を通して特別支援教育に対する教員の理解の向上や対応力の向上を図ってきた。引き続き、教員の対応力を強化しながら、安心安全な学校生活環境の整備に努めたい。

◎ 重点的な取組事項－4 保護者・地域、教職員、子どもが協働する活動の充実（梅島ブランドの「ま」）

- ・コロナ禍における地域行事等の減少、教員の働き方改革による教育課程外の活動の縮小に伴い、地域との連携についてもこれまでと同様の内容や方法では行うことが困難になってきている。新たな考えのもとで、新しい地域との連携の在り方を模索していく必要がある。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

- ・コロナ禍が落ち着きを見せ始め、学校の教育活動が次第にコロナ以前の形に戻っていくように感じます。しかし、この間に得た新たな方策などは、慎重に吟味しつつも積極的に取り入れていくべきものもあります。アフターコロナの中、新たな教育活動の在り方を、ともに模索していきたいと考えています。引き続きよろしく願いいたします。

(3) その他（学校教育活動全般について）

- ・特別支援教室の利用を希望する保護者が増えてきている。通常の学級にあって、特別な配慮を要する児童の状態に左右され、本来の教育活動が実践できない状況も珍しくない。人的な支援とともに、そうした人材の確保し、即時的に学校を支援するシステムを確立していく必要がある。